



夢と希望を持って入学され、学生生活を無事に終えられ、本日ここに来てくださる卒業生の皆様、栄えある門出を衷心よりお慶び申し上げます。ご卒業おめでとうございます。

物心両面で学生の皆様を支えられたご父母の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

今まではご両親をはじめご家族の経済的支援に支えられた学生生活でありました。これからは学生の皆様が一人前の社会人として、独立独歩の自立への道を歩んでいかなくてはなりません。正に人生

のスタート台に立たれたといふことができます。

今日まで学問・研究を通して、人生で最も大切なことを学ばれたことと存じます。これからは、その学ばれたことを実社会の中で存分に実践していただくことを切望しております。

一、厳しすぎた就活
就職活動を通して、今の日本がいかに不況であるかを実感されたことと存じます。日本は今、就職氷河期といわれる経済不況の直中にあります。こうした厳しい状況の中で就職活動をされ、就職が決まっ

た方と、決まっていらない方があります。就職を希望される全員の学生の皆様が就職でき、人生で最も大切なことを学ばれたことと存じます。この責任が全うできるのが、その責任を果たすことができずして卒業した。大学の責任において卒業後も就職支援をさせて頂きますので、遠慮なく大学に足を運んで下さい。

二、学士としての自信を
学究生活を通して、人間としての基礎的教養と、それぞれの学部学科において専門知識を学ばれ、世の中の普遍的な真理を見極める見識を身につけたことと存じます。ただ、知識だけでは社会で通用しません。失敗を恐れず「実行する勇氣」を持って頂きたいと思ひます。知識とやる気が備われば、いかなる逆境も乗り越えていくことができることを信じて下さい。

人間には、本来、自分も知らない無限の可能性を生まれながら持っている。学究生活を通じて自分の可能性に挑戦して、それを手中にされた方もあることと存じます。ただ手に入っていない方は、社会での経験を積み重ねて可能性に挑戦して下さい。

これからの人生を、学士としての自信を持って、自分の可能性を信じ、何事にも前向きに取り組んで生きて頂きたい。お願い申し上げます。

三、百尺竿頭更進一步
「無門関」という中国の禅の語録に「百尺竿頭さらに一歩進めよ」という言葉があります。「百尺」とは約30メートルで、「竿頭」は竹竿の先端を言います。

今現在、私どもの生きていく現実が、まさに断崖絶壁の竹竿の先端にしがみついている状態を言います。

「さらに一歩進め」れば、奈落の底に堕ちて、生命を落としてしまいます。

生きるということは、竹竿の先端から手を離していることに他なりません。私どもの生命は、何十年も生きていくことが約束されているわけではなく、確実にはありません。確実には「いま」しかないということと存じます。

そのことが自覚できるかどうかで、私どもの人生は大きく変わります。

「いま」を生命がけで生きる以外に、別の生き方はないといわなければなりません。時は人を待ってくれません。一回限りの人生を後悔しないために、堕ちる覚悟で一歩を踏み出す勇氣を持って下さい。

常に安定を求めて生きるのではなく、自分の殻を破り、一歩踏み出すことによって、未知の自分を発見することが出来ます。自分が目指す人生の設計図を画いてみて下さい。

今年2月17日の「日本経済新聞」には、愛知県の社長の出身大学のベストテンが発表されました。第1位は名城大学の1433人で、第2位は本学の1391人でした。本学の同窓生は、可能性に挑戦して道を切り開いておられます。卒業生の皆様も、実行する前にあきらめるのではなく、是非とも社長を目指して下さい。

私もは縁あって人間に生まれました。一人ひとり世の中で果たすべき役割を背負って生まれてきています。

「自分」という人間は単純な存在ではなく、可能性に満ち溢れた存在です。

皆様の将来が、夢と希望に満ち溢れた人生となり、全力を投球し続けられ、決して後悔のない人生を過ごされることが心をこからお祈り申し上げます。

平成22年度
学位記授与式

学士としての自信を 常に可能性に挑戦を

学長 大野 榮人



第174号

編集発行

愛知学院大学
事務局 庶務課

☎ 470-0195

愛知県日進市岩崎町
阿良池12

電話 ☎ 0561) 73-1111代

曹洞宗教学審議会委員に 小出学院長重任される

曹洞宗における僧侶の行学及び教師養成に関する事項を調査研究し審議するため、曹洞宗事務局に設置されている審議会で、会長は宗務総長が就任する。委員は宗会議員及び有識者から委嘱され、他に参議及び内務部長が参事として参加する。教学に関する重要な会で学院長の責任は重い。

四、自己の可能性に挑戦を

60数年前の敗戦後の何一つない時代にも、日本人は貧しさに決して負けることなく生き抜いてきました。日本人の一人ひとりが自分の可能性に挑戦するという、頑強な精神力を持っておりました。その頑強な精神力は学生の皆様一人ひとりのDNAの中に組み込まれております。

不況という逆境こそ絶好の契機であると捉えられ、自分の弱さから逃げることなく自分と向かい合い、自分の可能性を信じ、可能性に挑戦してみて下さい。そうすれば必ず道は開けることを約束させてもらいます。

平成22年度 学位記授与式

平成22年度の学位記授与式は、文学部・心身科学部・商学部・経営学部・法学部・総合政策学部・大学院(歯学・薬学研究科を除く)・法科大学院は3月15日(火)日進キャンパス・百周年記念講堂、歯学部は3月11日(金)楠元キャンパス・百周年記念講堂、歯学研究科は3月11日(金)楠元キャンパス歯学部基礎棟、薬学研究科は3月18日(金)。

今年の卒業生は超就職氷河期とも言われ、厳しい就職活動を通してその厳しさを体験することとなったが、本学を巣立つ卒業生の皆さんが社会で活躍されることを祈念します。



22年度 学位記授与式表彰者

学位記授与式で送られる
各受賞者は次のとおり。

〔管長賞〕

宗教学科 西尾 英晃
歴史学科 藤田 恵子
国際文化学科 グンテイキムトア
日本文化学科 戸谷 真美
グローバル英語学科 坂倉 寛衣
商学科 陳 芳
ビジネス情報学科 古田 夏輝
経営学科 岡本 恵典
現代企業学科 中島 隆雄
法律学科 伊藤 祥一郎
現代社会法学科 権田 隆哉
総合政策学科 長江 貴弘
心理学科 黒田 侑希
健康科学科 須崎 雅
歯学 正村 嘉崇
歯科衛生学科 遠山 渚

〔学長賞〕

健康科学科 東 はるか
歯学 大見 真衣子
宗教学科 中村 克麻
歴史学科 河島 絵里
国際文化学科 矢田 明日美
日本文化学科 小路 友貴
グローバル英語学科 市村 みゆき
商学科 佐々木 藍
ビジネス情報学科 加藤 達也
経営学科 佐藤 美沙紀
経営学科 福泊 晶
現代企業学科 竹本 浩之
法律学科 李 英生
現代社会法学科 杉浦 太一郎
総合政策学科 中島 辰徳
心理学科 日比野 有珠
健康科学科 進士 愛弓
歯学 前田 有里恵
歯科衛生学科 松川 直哉
歯科衛生学科 岩井 和正
歯科衛生学科 佐藤 綾野
歯科衛生学科 佐藤 恵子

〔初代学長小出有三賞〕

宗教学科 尾島 友美
歴史学科 川澄 里乃
国際文化学科 高木 智子
日本文化学科 片桐 由佳
グローバル英語学科 森 香津代
商学科 湯川 祥平
ビジネス情報学科 松浦 良恵
経営学科 杉山 紗央里
現代企業学科 安藤 悠太
法律学科 渡邊 志保
現代社会法学科 永尾 啓浩
総合政策学科 林 香住
心理学科 小椋 沙也加

〔歯学部臨床実習優秀賞〕

浅井 孔明 久野 茜
齋間 洋南 中山 英典
久野 由美子

〔歯科衛生学科臨床実習優秀賞〕

尾上 文菜 津本 奈々

平成22年度
祝 辞「自らの努力により
輝やかしい将来を」

学院長 小出 忠孝

平成22年度愛知学院大学卒業生諸君、卒業おめでとう。本学を代表して心よりお祝い申し上げます。諸君の胸の中には四年間の雪の功成り、学位記を手にする事が出来た喜びと共に、これから始まる新しい人生に対する希望に満ち溢れていると思います。

「学院大卒の誇り」
新しい人生の門出にあたり、諸君に先ず学院大卒業の誇りを持って頂きたい。諸君が学んだ愛知学院は創立134周年を迎える、中部で最も古い歴史と伝統を持つ学園であり、大学は8学部17学科、大学院9研究科に学生1万3千名を擁する私立の総合大学です。さらに本学は常に時代のニーズに積極的に対応し中部の主眼大学になっています。

諸君はこの様な名門愛知学院大学で、多くの優秀な先生に恵まれ学業を修め、また多くの先輩・後輩に囲まれ人間形成に努めることが出来ました。さらに諸君には社会の各界でめざましい活躍を遂げている11万余の先輩がいます。すべて本学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」の教育理念のもとで、誇り高く育った学院大卒業生です。この建学の精神は開祖道元禪師の教えであり、人間として正しい



く生きていく上で、最も大切な基本的精神です。諸君は一生この建学の精神を座右の銘として堅持し、社会で活躍される事を希望します。

「景気、春以降に回復」
諸君が明日から門出する社会は、21世紀11年目を迎える、すべての面で新しい時代の訪れが期待されています。しかし現実の国際社会ではアメリカ諸国、アフガン、パレスチナ等における経済・民族・宗教に根ざした紛争や対立が国際平和を脅かし、また地球環境、食糧、人口、難民など地球規模の問題も深刻化しています。さらに平成20年米国の生じたリーマンショック以降、百年に一度と言われる金融危機に襲われ、世界的な景気後退が発生しましたが、各国協調の努力により景気後退は沈静化、その後回復に転じています。先月米国のFRB議長は「米国の景気回復速度は昨年より速くなる可能性が高い」と発表。わが国でも政府は2月の月例経済報告で景気の基調判断を「足踏み状態にはあるが、足踏み脱却に向けた動きが強まっている」と上方修正をし、また日銀は先月の政策決定会合で「景気の先行きについて、春以降、景気の踊り場を徐々に脱し、緩やかな回復基調に戻る」との見通しを発表しました。

「超就職氷河期」
この様な経済界の動きのなかで、今春卒業予定の大学生の就職内定率は、文科省等の調査によると68・8%で前年比4・8ポイント下回り、就職氷河期と呼ばれた1996年以降最悪であり、超就職氷河期を印象づける内定率です。地域別では中部地区が61・7%（前年比8・0ポイント減）と全国最低であり、自動車産業等に大きく依存した中部地区の特徴がはつきり出たもので、当地区の卒業生にとつて大変痛手の状況でした。この様な厳しい就職環境を受け、本学でも就職支援体制を強化し、優良中小企業への求人依頼、未就職卒業生の採用枠の拡大等努力をしてきました。本学の就職内定率は72・9%と上昇していますが、さらに向上をめざし努力中です。また先日厚労省の発表による新規求人倍率は1・02倍と改善され、2年ぶりに1倍を上回りました。雇用情勢はなお厳しいものの、求人を持ち直しの動きが続いています。

一方先月発表された上場企業の昨年10・12月期の経常利益は前年比24%増と5四半期連続の増益となっています。新興国や北米を中心とする外需に支えられ、機械・電気など幅広い業種的好調によるもので、日銀名古屋支店は中部三県の景気の総括判断を「持ち直し基調に復しつつある」と上方修正をし、今後も穏やかな回復が続くとの見方を示しました。春以降景気回復が期待されるなか、明るい希望をもって活躍して頂きたい。

「将来は自ら成し遂げる」
わが国は昭和20年に敗戦という有史以来の危機に陥りました。しかし昭和の先人は戦災の廃墟の中から立ち上り、涙ぐましい努力により経済復興を成しとげました。さらにその後の石油ショック、近年の

祝 辞

愛知学院大学後援会会長
青山 稔

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。そして今日まで温かく見守ってこられました御父母の皆様方にも心よりお祝い申し上げます。また、小出学院長先生・大野学長先生をはじめ、教職員の方には大学後援会を代表して厚く御礼申し上げます。また、後援会会員の保護者の皆様方には日ごろより後援活動に深くご理解とご協力を賜りましたこと、心より感謝申し上げます。

今、日本は経済的にも政治的にも外交的にも大きく揺れ動いております。先日、日本はGNP世界第2位から第3位に後退したとの報道がなされましたが、我々が直面している未曾有の大不況はまだまだ出口の見えない状況であり、皆さんもその大きな揺りを受け、就職活動などでは大変ご苦労をなされたことと思います。政界におきましても民主党内のごたごた、いまだくすぶる「政治」と「金」の問題・・・等々、多くの問題を抱えております。

このような大変な時代に皆さんはその社会へと旅立つわけですから、大きな期待だけでなく、皆さんの不安もあるでしょう。しかし、雨はいつか上がるもの、雲はいつか切れるもの。出口のない入口はありません。必ず良い時がきます。皆さんは愛知学院大学の卒業生として、建学の精神「行学一体・報恩感謝」の理念を心に、先生方に教えていただいた学問や知識、友達から学んだ友情、クラブ活動やサークルで先輩後輩から学んだ友愛、そしてこの広大なキャンパスで培った雄大な心・・・。大学生活で得た多くのすばらしい財産を持っています。

商学部同窓会会長
井上 峰雄

卒業を祝して

ご卒業おめでとうございます。愛知学院大学各学部同窓会を代表して心からお祝いを申し上げます。また、同窓会の会員となられた皆さんを心から歓迎いたします。そして皆さんを今まで暖かく見守ってこられたご父兄のお喜びもひとしおと拝察いたします。

母校も文学部・心身科学部・商学部・経営学部・法学部・総合政策学部・薬学部・歯学部・短期大学の8学部17学科を数える中部地区でも有数の総合大学となり隆盛をきわめております。本年度からは、大野榮人・新学長が就任され、これまでの大学の高い評価を保持し、より発展させていくために、本学は常に改革し日々立ち止まることなく、前進されることと存じます。

この不安定な社会情勢のなか、皆さんは大学で、人生において新時代の飛躍につながる有意義な時期を過ごされたのです。こうした時代の変化を敏感にとらえ、次の飛躍のための準備をしっかりとして大学で獲得されたと思います。しかし、氷河期の就職戦線に勝ち抜く事はとても大変なことであつただろうと推察いたします。人生の目標をしっかりと持って、本学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」をよく理解し歩んでいくってください。日頃から能力の研鑽に精進頂き、今後実践して社会で活躍していただきたいと思ひます。

卒業生へ贈る言葉(平成22年度)

「サムライ・ブルー」から学ぶこと

卒業おめでとうございます。皆さんが愛知学院大学で過ごした4年間は、「未曾有の就職危機」、「百年に一度の就職危機」の時代でした。皆さんが入学した2007年以降、「未曾有の金融危機」、「百年に一度の経済危機」が生じました。皆さんは、「世界同時不況」の中で、就職活



経営学部 向 伊知郎

動と戦ってきました。しかし、この「苦」の経験を、将来の「楽」あるいは「幸」への糧にしなければなりません。2010年に南アフリカで開催されたサッカー・ワールドカップにおける「サムライ・ブルー」を思い出してください。ワールドカップ開催の前まで、「サムライ・ブルー」は勝つことができませんでした。「苦」を経験していたわけです。サッカーは、「集団」競技です。卓越した「個人」の力が集まっただけで勝つことはできず、「個人」の力がシナジー効果を生じさせて「集団」の力となることで、初めて勝利へと繋がるのかと思います。「サムライ・ブルー」は、ワールドカップ直前までの「苦」の経験を活かして、「個人」の力を集結して、最高のパフォーマンスがあげられる「集団」の力を創造して、「勝利」を手にしたのです。これから、皆さんは、まさに「人生」というフィールドで生きていくことになります。皆さんが「苦」の経験を活かして、「個人」の力を伸ばし、それがシナジーを生みながら「集団」の力として発揮され、将来の「楽」あるいは「幸」をつかむことができるように祈念いたします。

社会は人の心で成り立っている

大学生活を終了し、社会に巣立られるみなさん。卒業おめでとうございます。衷心よりお祝い申し上げます。今、社会情勢はご存知のように先行き不透明で、明るいといえない状況です。日本経済は昨年から穏やかなデフレ状況が続く足踏み状態です。いいかえれば、海外環境の激変や国内生産年齢人口の減少による国内消費の伸び悩みにより、厳しい大不況から脱しきれないで居るからです。この状況は巨大な企業も危機に陥ると言え、これまでではない、信じられない事態です。しかし、この厳しい状況下でさえ、成長している企業が見られます。それらの企業は、このデフレの足踏み状態でも市場のニーズ、消費者（人）の満足に応えられるからです。それは市場の変化・低迷に素早く柔軟に対応する戦略を展開して、市場を開拓し、成長し、経営活力を向上させています。これらから見ても、消費者（人）の心をつかむ経営戦略や市場戦略が成功しているといえます。商学部では、愛知学院大学の建学の精神「行学一体・報恩感謝」を軸



商学部 尾碕 眞

に「ビジネス・ヒューマン・バリュー」という理念に沿って学生生活を送るよう指導してきました。みなさんが、この理念に立ち返り、人の心の価値を忘れず、人の心に目を向けたなら、新たな市場価値が創造でき、消費者（人）から信頼されるビジネスパーソンになることは間違いないといえます。これからみなさんは社会の一員として活躍されますが、ぜひとも「社会は人の心で成り立っている」から始まる新価値を提案し、未来を見据えた、安心と安全のある市場を創造しながら、経営活力を向上させ、社会構築に貢献できるよう、良く考え自信をもって実行する（熟慮断行）ことを期待します。

Pay It Forward

このたび卒業という節目のときを迎えられた皆様、心よりお祝い申し上げます。「報恩感謝」をモットーとする愛知学院大学で学ばれた皆さんは、これまで何かと負担をかけてきた保護者の方々に感謝し、すぐにでも恩返しをしたいという、殊勝な気持ちになっておられることでは



文学部 安藤 充

よう。ここで改めて申し上げたいのは、その気持ちをぜひ社会に、世界に向けていただきたいということ。感謝の心は大切にしながら自分から余裕がでたらいいですから、今度は、次の世代の人へ、自分よりも弱い人々へ、恩返しの歩みを続けていくてください。皆さんをここまで育てて下さった方々も、そのような大きな報恩感謝の行こそ喜んで下さることでしよう。大学ではそれぞれ専門的なことを修得されましたが、大きくみれば、人間に関わること、いのちに関わることを学び取られたはず。いのちを大切にすること、いのちを輝かすこと、これは社会に出て、どの業種に就くにしても大事にしていただきたいと思っています。就職氷河期とも言われ、政治も経済も苦境のどん底のような時期に卒業を迎えられたわけですが、この厳しさを誰かのせいにして嘆いているわけにはいきません。皆さん一人ひとりがこの世の中を良くしていく力を持っています。まずは焦らず、力を蓄えてください。閉塞的な日本を打開するためにも、世界を意識して自分を磨いていくってください。

「自信を持とう」

平成22年度卒業生の皆様、ご卒業おめでとうございます。心からお祝い申し上げます。心身科学部は昭和45年に開設されました文学部心理学科を平成15年4月に心身科学部心理学科に改組し発足しました。平成16年4月には、厚生労働省の推進する「健康日本21」



心身科学部 佐藤祐造

に関連し、メタボリックシンドロームや糖尿病などの生活習慣病およびその予防群を中心とした半健康な状態の人に、対し、より高い健康度、活動能力とQOLの向上を目指す健康づくりを指導できる人材育成を目指し、健康科学科が発足しました。したがって、健康科学科の皆様は第4期の卒業生ということとなります。平成20年4月には、「健康日本21」に栄養面から生活習慣の指導をしたり、医療現場で活躍できる栄養士・管理栄養士養成を目指す健康栄養学科が設置されました。皆様はご卒業後、一般企業や行政、教員などに就職されたり、大学院への進学等、様々な進路に進まれます。4月から就職された新しい職場では、対人関係をはじめ多くの「カルチャーショック」を受け、軽いうつ状態になる方も少なくないと思います。私は7年間、健康科学科の皆さんに講義やゼミを行って来ました。皆様優秀な方ばかりで、自信を持って良いと思います。自分が苦しい時には、他人も苦しいと思います。皆様の「健康」とご活躍を心よりお祈り申し上げます。

学部の学びを人生の宝物に

総合政策学部平成22年度卒業の皆さん、卒業おめでとうございます。学部長一同心からお祝い申し上げます。12号館を拠点に学んだこの4年間、生活や社会での様々な問題について、情報を収集し、調査を進め、調査結果を分析する技術を学びました。調査結果とその分析を基礎に意見交換をし、問題への理解を深めることの大切さも教えられました。さらに、問題解決への提言・提案をまとめ、それらを実行に結びつけるための磨き上げる場面も、それぞれのゼミで体験出来たことと思います。これらを修得したことに対して、学士総合政策の学位が皆さんに与えられます。しかし、これらはあくまで学生という身分に守られ、教員の指導のもとに行われた練習の成果であって、独り立ちし、自らの生活を賭けて実践する中で皆さんの本当の力として根付かせて行かねばなりません。皆さんがこれからの日々、弛まず学び続け、誠実に生き抜いてくれるならば、問題への理解を深めることの大切さも教えられました。さらに、問題解決への提言・提案をまとめ、それらを実行に結びつけるための磨き上げる場面も、それぞれのゼミで体験出来たことと思います。これらを修得したことに対して、学士総合政策の学位が皆さんに与えられます。しかし、これらはあくまで学生という身分に守られ、教員の指導のもとに行われた練習の成果であって、独り立ちし、自らの生活を賭けて実践する中で皆さんの本当の力として根付かせて行かねばなりません。皆さんがこれからの日々、弛まず学び続け、誠実に生き抜いてくれるならば、



総合政策学部 續 伯彦

学部での学びは、必ず皆さんの人生の宝物に育って行くことでしよう。皆さんは学部を巣立ちますが、私たちが教員はなおこの学び舎に留まっています。学び足りないと感じた時、考えがまとまらず迷ってしまった時、どうぞ遠慮なく母校を、馴染み親しんだ総合政策学部を訪ねてください。また、何事かを成し遂げたなら、是非それを知らせて下さい。私たちは皆さんとのそうした再会を心待ちにしています。学部での学びを糧に、心身の健康に心がけ、前向きに人生を切り開いて下さることを祈ります。お祝いの挨拶とします。

胸を張って前進して下さい。

平成22年度卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。皆さんは法学部の教育課程を終えられ、社会に巣立っていかれるわけですが、この4年間で様々なことを身に付けられたことと思います。法律について多くの知識を修得されたことでしょう。しかし、皆さんが身に付けられたのは、



法学部 高木敬一

単なる法律の知識ではありません。法的な物の見方、考え方は、それは問題をとり巻く諸条件を勘案したうえで筋道を立てて考え適切な答えを導くことが出来る論理的な思考力です。この能力は皆さんの人生にとって大きな力となるはず。皆さんは、4年間の大学生活で知識を得ただけではありません。授業を通してあるいはクラブ、同好会など授業外の活動のなかで、多くの仲間も得られたはず。それらの仲間、友達との交流は皆さんの学生生活をより豊かにしたと違いありません。そして、それは皆さんのこれからの人生において何よりの宝となるでしょう。卒業後、多くの方は企業や官公庁へ就職されることと思います。ロースクールや大学院に進学して勉学を継続される方、志望の職業、資格を目指して専門学校等に進まれる方もいらっしゃるでしょう。一昨年来、経済情勢は厳しさを増しています。政治的にも難関が山積し、楽観できません。しかし、皆さんには、愛知学院での勉学や学生生活で培った人間力があるはず。皆さんのご活躍を期待しています。

名誉教授称号授与

本学教授会は、平成23年3月31日付で退職される、磯村孝志商学部客員教授、斉藤昊経営学部教授、花村肇歯学部教授に、4月1日付で名誉教授の称号授与を決定した。

昭和38年早稲田大学第一商学部卒業、42年同大学大学院商学研究科経済統計学専攻修士課程修了。昭和42年4月から本学商学部助手、45年講師、53年助教授、平成5年商学部教授。この間、商学部長、情報処理教育センター所長の要職を歴任。また、昭和55年4月より米国イリノイ大学にて情報技術(IT)関係分野の海外研修を行なう。

研究の初期段階では経済統計学手法を用いた実証的解明が中心であったが、海外研修を契機に、広く情報技術(IT)と経済、産業、ビジネス、教育などのインターフェースに研究の関心を移し、問題意識の先見性や新たな知見は高く評価されている。教育面では熱心な教育指導・面倒見の良さで、多くの学生・卒業生の信頼を得ている。その他、いくつもの地域づくり・商店街活性化専門委員会など社会貢献にも積極的に貢献されている。

昭和41年神戸大学経済学部卒業、43年同大学大学院経済学研究科修士課程修了、46年同大学大学院経済学研究科博士課程単位取得・退学。昭和46年4月から本学商学部講師、52年助教授、60年商学部教授、62年大学院商学研究科教授。平成2年経営学部の設置に伴い移籍、経営学部教授、平成4年経営学研究科設置に伴い移籍、経営学研究科教授。この間、教務委員会委員長、経営研究所長、経営学部長、情報処理教育センター長などの要職を歴任。また、米国カリフォルニア大学リバーサイド校客員研究員として渡米。

研究のテーマは「産業組織論」であり、特に寡占市場における投資行動の分析、教育業績面では、日本経済政策学会の常務理事、理事を務め、学会での大きな貢献と同時に、研究者としても高く評価されている。教育面においても、懇切丁寧な教育指導、面倒見の良さ等で学生の信頼は厚く、多くの学生からも慕われている。



商学部客員教授
磯村孝志



経営学部教授
斉藤 昊



歯学部教授
花村 肇

卒業生へ贈る言葉

(平成22年度)

「若い力を結集して 明るい歯科界を！」



歯学部長
野口俊英

卒業生の皆様、難関の卒業試験をクリアしての御卒業、誠にありがとうございます。愛知学院大学歯学部はこれまで国家試験の合格率が高く、卒業試験の結果と国試の合格率はほぼ一致していました。しかし、平成21年度は合格率が低下し皆様の学年には

より厳しい教育がなされましたが、皆様良くなばってこの度の卒業を果たしてくれたと思います。また、国家試験という難関が待ち受けていますが、皆様が実力を十分に発揮すれば必ずや良い結果が得られると思います。現在、歯科界は大きな閉塞感に包まれておりますが、この現状を打破するには皆様のよう若い力の結集が必要です。口腔の機能、すなわち物を噛むことと人間にしか与えられていない会話を通じてのコミュニケーションはどんな時代になっても失われることはありません。さらに私の専

門分野である歯周病学においては、歯周病が全身の健康とも深く関連していることが明らかになりつつあります。各種の幹細胞を用いた歯周組織の再生治療に関する研究も著しく進歩しております。また、優れた人工臓器の一つであるインプラント治療も飛躍的にその精度が向上し、長寿社会の生きがいに貢献しています。もちろん、社会に出れば多くの困難も待ち受けていることと思いますが、愛知学院時代に育まれた強い友情と精神力で乗り越えられることと思います。御卒業を心から祝福いたします。

「歯科衛生学科三回生の皆さん、卒業おめでとう」



歯科衛生学科長
向井正視

歯科衛生学科三回生の皆さん、ご卒業を心からお祝い申し上げます。歯科衛生士になることを目指して入学した皆さん、卒業を迎えたいま三年間を振り返ってみますと、いろいろな思い出がうかんでくることでしょう。一年生、二年生のときの履修科目の内容や履修時間数におそらく面会したかと思うと思います。それでも皆さんが学科で

学んだことは口腔保健衛生、歯科医療に関する本質に基本的な事柄ばかりです。そして、最終学年における臨床(臨地)実習では大学で学んだ口や歯に関することだけの実習ではなく、大学とは全く違った環境において様々な出来事に直面し、それらを乗り越えて実習を終え、卒業を迎えられたことにあらためて敬意と敬意を表したいと思います。歯科衛生士は一人ひとりの患者さんを対象とするだけではなく、職場や学校等の集団においてもその役割を果たすことができます。しかも歯科医療は従来の病気の治療から、予防に重点が置かれるようになってきました。愛知県から

はじまった八〇二〇運動、皆さんにはこの運動を推進・展開する一翼となり、人びとの口腔の健康の増進に貢献してもらいたいと思います。皆さんは大学で身につけた専門分野の知識や技能をさらに向上させ、幅広い分野に興味をもち、感性を磨き、より豊かな人間性をもった素晴らしい女性となるよう努力して下さい。皆さんはきっとそれに応えることができます。そして誰からも愛され、頼られる歯科衛生士をめざして下さい。卒業生の皆さんの未来が素晴らしいものであることを心から願っています。

平成23年度春季公開講座

総合テーマ「中国—歴史・文化・思想—」

平成23年度春季公開講座のテーマが「中国—歴史・文化・思想—」に決まった。日程は5月28日から7月2日までの毎週土曜日。各回の講師・テーマは下記の通り。

開講日	テーマ	講師
① 5月28日(土)	中国少数民族の「食」に学ぶ—貴州省苗族と布依族の食生活—	心身科学部 酒井 映子 教授
② 6月4日(土)	中国吉林省延辺朝鮮族自治州の朝鮮族の食生活	心身科学部 末田 香里 教授
③ 6月11日(土)	文化大革命とは何か—その実態と遺産—	文学部 谷川 真一 准教授
④ 6月18日(土)	伝統文化と現代中国—日中の文化共用と経済協力—	教養部 朱 新建 外国人教師
⑤ 6月25日(土)	中国側から見た日中戦争—日中不再戦—	文学部 菊池 一隆 教授
⑥ 7月2日(土)	漢字の基礎知識—形・音・義—	教養部 前山 慎太郎 准教授

お申込み・お問合せ

募集人員	350名 ※お申込み多数の場合は先着順ではなく抽選とさせていただきます。予めご了承下さい。お申し込みをお願いします。
受講資格	年齢性別不問
受講料	3,000円(資料代として)
申込受付期間	平成23年4月4日(月)~4月13日(水) 必着
申込方法	必要項目(氏名・住所・電話番号・FAX・年齢等)を記入した申込用紙を郵送するか、FAX・メールにて公開講座係まで送信してください
お申込み	〒470-0195 愛知県日進市岩崎町阿良池12
お問合せ	愛知学院大学 「公開講座」 係 TEL: 0561-73-1111(代) E-mail: koukai-k@dpc.agu.ac.jp FAX: 0561-73-9222

学士課程教育 更なる質の向上へ

本学では、より一層質の高い教育を行い、社会に有為な人材を送り出すことを目的に、教育目標、社会に送り出した人間像、求める人間像を制定し、本学ホームページ上においても広く社会に公表し、本学の方針と決意を公表した。(ここでは、本学の学士課程の教育目標を掲載します。大学院については、ホームページを参照ください。)

【大学全体】

愛知学院大学は、仏教教団曹洞宗の設立した私学です。私学には建学の精神があり、それに基づいて特色ある教育を行うところに、私学としての存在意義があります。本学は創立以来開祖道元禪師の教えに従い「仏教精神、特に禅的教養をもとにした『行学一体』の人格育成に努め、『報恩感謝』の生活のできる社会人を養成する」ことを建学の精神としています。社会に役立つ人間となるためには、単に学問・知識を修得するのみでなく、実践力のある人間の陶冶につとめなければならぬと考えています。

【文学部】

文学部は、宗教文化(宗教学・歴史・国際文化・日本文化・グローバル英語という5学科で構成されており、大学院(文学研究科)には博士課程前期

および後期が設置されています。いずれの学科も「人間」をさまざまな視点から総合的に分析・説明することを目的としています。複雑化した「人間」や「人間社会」の解明は今日の課題であり、それらを解明していくことこそ文学部に与えられた使命であると考えています。それと同時に、本学の建学の精神である「行学一体」「報恩感謝」を学生各人に具現化させ、学問することの喜びを知り、問題意識を持って自らの研究に取り組み、自らの意思で行動できる人材を育成することが文学部の目的です。

(1) 宗教文化学科
宗教文化学科は、本学の建学の精神である「行学一体・報恩感謝」を、その時代と社会に具現化することを目的に設置されました。宗教は人間の叡智の所産であり、世界の宗教や宗教文化を研究することは、人間そのものを研究することに他なりません。本学科の専門科目は、宗教文化・仏教文化・禅文化の三つに分類できます。その中の一つを学びの中心に据え、同時に他も幅広く学ぶことにより、より深く人間を研究することを目指しています。

(2) 歴史学科
歴史学科では、「過去と現在との対話」を通して「歴史」に対する理解と関心を深め、洞察力を養うことによって、

「未来」を拓くことのできる人材を育成することを目標としています。本学科には、日本史・東洋史・西洋史・イスラム圏史・考古学の5コースがあり、幅広く歴史を学ぶことができるとともに、問題意識を持ってコース(ゼミ)を選択することによって、さらに深い研究に取り組むことができます。

(3) 国際文化学科
急速な国際化、グローバル化が進展する現代社会で活躍できる人材の育成を国際文化学科の目標としています。具体的には、①異文化間コミュニケーションの有力な手段である英語運用能力の向上をめざすこと、そして②異文化のさまざまな価値観を(a)英米文化、(b)アジア・オセアニア文化、(c)比較文化という三つの領域に分け、英米文化・言語学・歴史学・社会学などの多様な視点から学ぶことを学科の二大目標としています。

(4) 日本文化学科
日本文化学科のカリキュラムは、A「言語」B「文学」C「思想と芸術」D「社会と民俗」の四つの領域から成っています。これら4領域では、教室での講義以外に、方言や民俗調査、史跡や社寺や美術館・博物館の見学、書道実技など、学外に出て行う調査や実習があります。日本文化を体験できるさまざまな現場へ出かけ、学科の教育理念であ

る「文化探求現場主義」に基づき、実感的に日本文化を体得することを目標としています。

(5) グローバル英語学科
グローバル英語学科は、英語のコミュニケーション能力の習得だけでなく、企業での業務や観光・通訳・翻訳、および英語教育の分野において、英語のプロの養成を目指しています。カリキュラムは、英語技能を伸ばし資格取得を目指した実学中心で、日常的に英語を用いる学習環境下で、入学時から卒業時まで継続的に、しかも一貫して実務的な英語運用能力の養成を図ります。また、文化的・社会的価値観にも目を向けて、英語の言語センスを磨き、自己表現としてのことばの重要性、コミュニケーションの大切さを実感できるようにします。なお、2年次の夏期休暇中には、「西オーストラリア大学」(パース)に約3週間、ホームステイをしながら大学付属の英語センターで英語学習の集中訓練を受けます。これによりコミュニケーションタイプな英語力を身につけるだけでなく、実際の現地の文化に触れながら生の英語コミュニケーションを体験することができま

(4) 免許、資格などを取得する高度専門的職業人の養成すなわち、からだの健康を心(精神)と身体の両面から「心身科学」という総合的枠組みの中で捉え、教育、研究することを旨としています。

(1) 心理学
心理学は、人間のこころと行動についての実証的・実践的な研究に基づく教育を特徴とする学科です。生理的、心理的、社会的側面の全体的統合体としての人間の機能や特徴、生き方や存在様式を深く探求し、今日の教育、臨床、福祉、産業、司法矯正等の各領域における現実的諸問題に対処することへの要請に応えて実践的に貢献しようとする人材の養成を目指して、認知・行動・発達・教育、人格・臨床、社会・産業、計量にわたる幅広い領域の心理学教授陣が講義、演習等の授業を開講し、きめこまかい教育指導を行っています。

(2) 健康科学
健康科学科では、厚生労働省が推進する「健康日本21」に関連し、生活習慣病/メタボリックシンドローム(肥満症)予備軍を中心とした半健康な状態の人に対して、より高い健康度、活動能力と生活の質(QOL)の向上を旨とした健康づくりを指導できる専門家を養成します。「健康運動指導士」、「健康運動実践指導者」、「スポーツプログラマー」など運動面から21世紀の健康づくりを指導できる人材をはじめとして、「保健体育教員」、「養護教諭」、「言語聴覚士」などを養成するカリキュラムとなっています。教授陣は、医師、歯科医師、保健師、臨床心理士、言語聴覚士、養護教諭、運動生理・体育学者、生化学者など多彩です。

(3) 健康栄養学科
健康栄養学科では、「健康日本21」に関連し、糖尿病、メタボリックシンドロームなど生活習慣病の予防・治療・心身の健康づくりを栄養・食生活からサポートする管理栄養士の養成を目指しています。特に医療系管理栄養士としてチーム医療の一員として活躍できる最新の知識と確実な技術を修得するために、臨床・基礎医学分野、食品健康科学分野、臨床栄養学分野、健康スポーツ分野などの講義および実験・実習科目が開講されています。本学科では栄養士免許、管理栄養士国家試験受験資格、食品衛生監視員および食品衛生管理者、栄養教諭免許、NR(栄養情報担当者)認定試験受験資格が得られます。病院など医療関連だけでなく、給食、食品関係など幅広い分野での活躍が期待できます。

【商学部】

他者への思いやりや自然との共生、そして真の優しさに満ちた「人間としての価値(human value)」を創造し高めることを目標に、「ビジネスヒューマンバリューの創造」を目標としています。

【経営学部】

地球規模での競争の激化、地球環境問題の深刻化、情報化の進展など、企業を取り巻く環境はかつてないほどのスピードと規模で変化しています。経営学部では、このような環境変化に対応するため、大学の教育理念のもと新しい経営理論に基づく実践を重視した教育で「企業経営を通じて社会に役立ち、自己実現できる人材の育成」を目標としています。

【法学部】

「公正」、「正義」に代表される法の精神と本学の建学の精神を身に付けた上で、法学の体系的知識を踏まえた法的判断能力を養成するとともに、法と政治の基礎理論を踏まえつつ、現代社会が抱える法的諸問題を発見し、これを合理的に解決できる能力を養成することを目標とします。

【総合政策学部】

一年から四年まで、リサーチ・プロジェクト(ゼミ)での少人数教育を中心として、人間と社会に係る課題を多角的に捉え、課題を発見、分析して解決に取り組み、社会貢献できる能力の育成を目標とします。

【薬学部】

薬学部は、医療人としての豊かな人間性と高い倫理観を備え、薬剤師として必要とされる基本的な知識のほか、薬学の全領域に及ぶ一般的な理論や、医療を中心とした実践の場において必要とされる技能・態度を有し、薬学に関する知識と実践に関する総合的な能力を体系的に活用できる

【短期大学部】

1、深い思いやりの心(報恩感謝)をもって、学んだことを歯科医療の場で発揮「行学一体」で豊かな人間性をもった歯科衛生士の育成を目指します。
2、広く社会に貢献できる自己成長に努め、社会のニーズに対応できる主体性をもった歯科衛生士の育成を目指します。

薬剤師の養成を目標としています。

【歯学部】

1 患者さんの痛みや苦しみを理解できる豊かな人間性の獲得。
2 基本的な科学の原理と概念を理解し、生命科学に関する知識の修得。
3 科学的探求心を持ち、自ら問題を発見し解決する能力の修得。
4 口腔領域の疾患の予防・診断・治療に関する知識と基本技術の理解。
5 国際社会に対応する素養の修得。
6 チーム医療に必要とされる知識・対人関係・技術の修得。



就職体験記

就職活動を振り返って

私は、就職活動を始めるにあたり社会について少しでも知りたいと思い2年の夏と3年の夏にインターンシップに参加しました。そこで学んだ事を踏まえ、自分の進みたいと思う業界等を考えていき、10月よりIT企業のSE職と自動車関係の事務を中心にウェブエントリーをしていき、最終的に120社近くしました。

学内や合同企業説明会には積極的に参加し、少しでも多くの企業の方とお話しようと思い動いていました。

またそれらと並行して、筆記試験の勉強やエントリーシート・履歴書の書き方等をキャリアセンターの方々に添削していただく為に何度も通っていました。

2月に入ると企業単独の説明会やエントリーシート・履歴書の提出が始まり、説明会には70社前後、エントリーシート・履歴書は50社前後に提出をしました。

3月前半から筆記試験やエントリーシート・履歴書で通過した企業は面接試験が始まり、30社前後受けていき、5月後半に志望していた自動車関連のIT企業から内々定をいただきました。

筆記試験や履歴書対策は出来るだけ早くから始め、様々な企業の方と面接をして下さい。今しかこの機会はありませんし、面接官によっては自分の気付かなかった事をアドバイスしてくださる方もいるからです。

そのような面接官に出会えた私の就職活動は、学びの連続だったと思います。



商学部
下 知佐江

就活=出会い

私は、美術館に学芸員として採用していただきました。昔から博物館・美術館は好きでしたが、「博物館で働く人」には、一体どうやってなるのか、どんな仕事をしているのか、そんなことは全く知らず、大学に入って始めて学芸員について学びました。それと同時に学芸員は狭き門だと知り、学芸員として働くことは難しいだろうと、最初から諦めていました。そのため、就職活動は一般企業の採用試験を広く受け、自分がやりたいことは何かを考えるとところから始めました。

しかし、自分の将来像が見えず、毎日面接を受けながら、私はこの企業で何をしたいのだろうか・・・と悩んでいました。そんな時、大学から学芸員としての採用があると連絡をいただいたのです。その瞬間、自分の行くべき場所に、やっと出会えたと感じました。いつもは積極的に自分を表現できず失敗してきた私ですが、このときだけは違いました。これは私の運命の出会いだ!!と、ありったけの思いをぶつけました。その熱意は、しっかり伝わっていたと思います。

熱い気持ちや、なりたいという思いだけでは受かるのは難しい、といわれますが、それがなければ始まらないと思っています。そして就職活動は一つ一つが一回限りの出会いのチャンスです。その一回を逃さず、ありったけの熱意をぶつけてみてください。



文学部
福田真琴

「進取の気概」

人は誰でも「夢」を持っている。「警察官」これが私の幼い頃からの夢であった。「警察官になる!」という希望を胸に入学し、そのことを目標に努力を続けた4年間であった。ただ漫然と日々過ごしてしまえば、就職活動が本格的にスタートする時期には周りとの力の差が大きく開いてしまう。そうならないためにも、入学と同時に何事も一生懸命やることを心掛けてきた。「中途半端な学生生活には絶対にしない。人生の勝負を決めるのは、これからの努力!」と言い聞かせ手を抜くことはなかった。少しずつではあるが確実に自己を成長させ、3年時からの就職活動をスムーズに開始することが出来たと思う。

まず始めたことは、目指す職種の研究を入念に行うことだ。説明会やセミナーへの積極的な参加が自己の未来像をより明確にした。そのことが試験勉強への強い原動力となったのである。しかし、やる気とは裏腹に思い通りいかず苦しい時期もあった。伸び悩む模試の結果、広範な出題範囲、志願者数の増加という状況から不安や焦りが大きくなるばかり。「努力しても無駄ではないのか?」と次第に弱気になっていった。しかしながら、最後までやり遂げることが出来たのは、そばで支えてくれた人のおかげだ。家族、親友、同じ夢を目指す仲間、キャリアセンターの方々の励ましや支援が力をくれた。今までの精進を信じ、プラス思考で行動することで自分を見失わず、いつしか不安は消えていた。結果、7月に「警視庁」翌月「愛知県警察」合格を果たすことができたのである。感極まり、これまでの頑張りを褒め、そして私を育てた全てのものに感謝した。

春から新しい世界へと歩んでいく。次の大きな夢に向かって果敢に挑戦していきたい。易きに流れようとする心中の賊に打ち勝ち前に進もうと思う。

努力は人を裏切らない。日々の積み重ねが結果となる。輝かしい未来をつかむことを願っている。



法学部
中島辰徳

「自分の夢を明確に」

私が企業の説明会等に本格的に参加し始めたのは、3月の中旬でした。決して早く始めた訳ではなかったですが、7月まで就職活動が続け、複数の会社から内定をいただくことができました。私は、IT業界を志望して、ほぼ業界をIT業界一つに絞って就職活動をし、とにかく受けることができる会社への入社試験には挑戦しました。それは、実際に足を運び、話を聞いてみなければ、わからないこともあり、後で受けずに後悔したくなかったからです。

学生時代には、学業とアルバイト、サークル活動等のプライベートを両立させてきました。学業とアルバイトを両立させ、多くのことに力を入れてきたことは、自信に繋がり、面接の時には話しをすることができ、就職活動にも大いに役立ちました。

とにかく学生の時、様々な経験を積み、色々な人たちと接することができたことは、就職活動でもとても役に立ち、社会人になってからからも、この経験は役に立つと思います。

就職活動を続けて思ったことは、何事も楽しむことが大切であるということです。その時を楽しめなければ、続けていくことはできないと思うからです。そして、何よりも自分に自信を持ち、挑戦していくことが大切であると思います。



経営学部
福泊 晶

私の就職活動

私は金融業に内定を頂きました。

私の就職活動は、3年の10月から始め、学内のガイダンスや企業研究セミナーに参加をし、自分自身の5年後、10年後の働いている姿を想像しながら企業研究に取り組みました。最初は自分が何に向いているのか全く分からず戸惑いましたが、企業研究を重ねていくうちに、将来、自分の働く姿が見えてきました。

第1希望の金融を中心に、様々な業界を受けてきました。

2月からは単独企業説明会に参加し、合同企業展よりも、より詳しく企業のことを知ることができました。

3、4月からは筆記試験や面接と慌ただしくなり、企業との面接の予定が被らないように計画を立てるのが大変でした。

初めて受けた面接では、緊張して上手く会話をすることが出来ず不採用でしたが、両親や栄サテライトの先生方と面接練習を繰り返すうちに自信がついてきました。また、ある企業の面接ですばらしい面接官に出会ってから、他の企業で2次、3次、最終選考へと面接が進むようになり、面接での「会話」が楽しくなりました。

就職活動に対して不安ばかりでしたが、立ち止まらず自ら成長させるきっかけになっていきます。

就職氷河期と言われていますが、自分に自信を持って学生らしく元気よく、めげずに就職活動に臨んで下さい。きっと良いご縁があると思います。



心身科学部
今村妃呂

就職活動は一番自分のことを知る期間

私は1月ごろから就職活動を始めました。はっきり言って遅いです。出遅れもいいところなのですが、就きたい仕事のビジョンが無かったこともあってか、セミナーや説明会に参加しても、ただ参加するだけで就職している気になっている状態でした。

そんなことでは駄目だと思い、「何になりたいのか」ではなく、「自分には何が出来るのか」を考えようと思い、セミナーや説明会後は後回しにして、ひたすら自己分析とエントリーシートの作成に励みました。自分は何がセールスポイントなのか、自分のどの部分を武器にして面接に挑めばいいのかを考えているうちに、徐々にエントリーすべき企業が見えてきました。

正直、私が面接した企業数は決して多くないのですが、あのまま自分の不安を打ち消すためにエントリー数だけを増やし続けていたら、ふわふわとした志望動機や、当たり障りの無いつまらない自己アピールで、内定にはつながらなかったと思います。焦る気持ちもあったのですが、焦っている時こそ立ち止まって自分を見つめなおせたことが、納得のいく内定につながったのではないかと思います。



総合政策学部
森本貴大

平成22年度卒業生の主な業種別就職・内定先一覧(平成23年3月2日現在)

【総合工業業】 (株)熊谷組 サカイ創建グループ サン・シールド(株) 新生ホームサービス(株) セキスイハイム中部(株) セキスイファミエス中部(株) 大東建設(株) 大和ハウス工業(株) テマホーム(株) 中部住研(株) (株)ブルーボックス 【製別工業業(設備工業を除く)】 (株)大阪防衛建設社 (株)PGSホーム 【設備工業業】 (株)朝日機器エンジニアリング 北嶋工業(株) シーキューブ(株) 鈴与防災工事(株) 日本電設工業(株) 【食料品製造業】 あづまフーズ(株) (株)かぬぬ カメ食品(株) (株)ヤマハ醸造 (株)鎌倉ハム 玉三屋食品(株) 日本食研(株) ニュートリー(株) フジパンググループ本社(株) マリンフーズ(株) 九昌食品(株) (株)マルト神戸屋 (株)ミナヤランチサービス 明治乳業(株) 【飲料・たばこ・飼料製造業】 (株)伊藤園 【繊維工業(衣服、その他の繊維製品を除く)】 (株)近藤紡績所 【衣服・その他の繊維製品製造業】 オア工業(株) クロスプラス(株) 【家具・装飾品製造業】 すまや(株) トーヨーキッチンアンドリビング(株) 山田工業(株) 【パルプ・紙・紙加工品製造業】 三共包装(株) 中央紙器工業(株) 東海紙器(株) 東海興業(株) 富士山ガキ(株) ハビックス(株) (株)愛田紙器 北陸森紙業(株) 【印刷・関連産業】 (株)エイエイビー 神田印刷工業(株) (株)ソーゴ 東洋印刷工業(株) プラザ印刷(株) 安田印刷工業(株) 【化学工業】 菊水化学工業(株) コタ(株) サラヤ(株) 三甲(株) (株)三和化学研究所 スズカファイン(株) 谷口石油精製(株) (株)日本点検薬研究所 ホーユー(株) 【石油製品・炭炭製品製造業】 豊栄産業(株) 【プラスチック製品製造業(別掲を除く)】 兼松産業(株) (株)日栄 桑名エン지니어リングプラスチック(株) 三菱化学工業(株) 矢作産業(株) 【窯業・土石製品製造業】 昭和製陶(株) 【金属製品製造業】 (株)若岡機械製作所 京浜金属工業(株) (株)興和工業所 コマニー(株) (株)佐野鉄工 中部日本マルコ(株) 中富スプリング(株) (株)ワタル製作所 (株)東海スプリング製作所 東宏工業(株) (株)ハウステック 明和工業(株) (株)和田製作所 【一般機械器具製造業】 (株)キョクトー (株)浅間製作所 (株)折松 (株)ジェイテクト (株)グローバル コーケン工業(株) (株)三協 ゼンウェルオーダー(株) 大和冷機工業(株) 東海合金工業(株) (株)内藤商会 (株)牧野フリス製作所 丸和機械(株) 【電気機械器具製造業】 日本電産(株) 【情報通信機械器具製造業】 ルビコン(株) 【輸送用機械器具製造業】 (株)ゼロスポート アイシン・エィダブリュ(株) アイシン化工(株) イズテック(株) 内派化成(株) 恵那機器(株) エンケイ(株) (株)呼柳工業 小島プレス工業(株) (株)三五 (株)新興工業 (株)セントラルシグナ	東豊工業(株) (株)光製作所 ミツホ工業(株) 【精密機械器具製造業】 オリオン電機(株) 興和グループ (興和kk・興和紡績kk・興和産業kk) 【その他の製造業】 大和ハウス工業(株) (株)コファ (株)MTG (株)河合楽器製作所 (有)中部製作所 (株)本間ゴルフ 【ガス業】 (株)南部ガスサービスショップ 【水道業】 愛知中部水道企業団 【通信業】 (株)平和テクノシステム 兼松コミュニケーションズ(株) 西日本電信電話(株) 【放送業】 (株)シー・ティー・ワイ スターキャスト・ケーブルネットワーク(株) 【情報サービス業】 (株)天晴データネット アクティス・ジャパン(株) (株)インテックス (株)エイブル (株)エイベックス (株)グローバルエンジニアリング スズキ教育ソフト(株) 鈴与システムテクノロジ(株) (株)セゾン情報システムズ ディップ(株) トリオシステムプランズ(株) 日本情報通信企画(株) (株)ピーエスシー (株)フューチャーイン (株)毎日コミュニケーションズ ヤマトシステム開発(株) 【映像・音声・文字情報制作業】 (株)サイネックス 【鉄道業】 近畿日本鉄道(株) (株)東海交通事業 東海旅客鉄道(株) 名古屋鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株) 東日本旅客鉄道(株) 愛知高速交通(株) 【道路貨物運送業】 アーク引越センター(株) アートコーポレーション(株) 軽急便(株) 鴻池運輸(株) (株)サカイ引越センター 三愛ロジスティクス(株) 山九(株) 四国西運送(株) ジョイワーク(株) トナミ運輸(株) トランコム(株) 日本通運(株) (株)日本陸送 濃飛倉庫運輸(株) (株)引越社 名鉄運輸(株) 名阪急配(株) ヤマト運輸(株) 【水運業】 アジアパシフィックマリン(株) (株)フントランスコーポレーション 【倉庫業】 中倉倉庫(株) 東陽倉庫(株) 【運輸に付帯するサービス業】 (株)日栄 桑名エン지니어リングプラスチック(株) 三菱化学工業(株) 矢作産業(株) (株)キユーユー流通システム 国際空港事業(株) (株)コクサイ物流 三協(株) (株)JALスカイ名古屋 高木(株) ホンダロジコム(株) 郵便事業(株) (株)ウエアス 【各種商品卸売業】 (株)あらた 大栄産業(株) (株)Paltac 【繊維・衣服等卸売業】 (株)林八百吉商店 (株)ワイエートレード 【一般機械器具製造業】 タキヒョウ(株) (株)トゥモロランド 豊島(株) 丹羽幸(株) ヒロタ(株) (株)ファイブ・フォックス 九真(株) (株)九大 八木兵(株) 【飲食料品卸売業】 (株)大光 (株)丸水長野果水 (株)名給 アルビス(株) (株)イズミック (有)ウイングフーズ (株)大岡屋 (株)東進 (株)坂田酒販 (株)正直屋 (株)昭和 中部ベジコーク販売(株) (有)ながせ食品 中日本フード(株) 名古屋パナ加工(株) 日本ハム東部直販(株) (株)丸市青果 (株)マルト水谷 大和産業(株) ライフライン(株)	【建築材料・鉱物・金属材料等卸売業】 (株)テラビックキョウワ 明鋼材(株) 朝日金属(株) 旭日産業(株) (株)石川マテリアル ウチダ(株) (株)F&Cホールディングス エリオ(株) (株)コファ (株)MTG (株)河合楽器製作所 (有)中部製作所 (株)本間ゴルフ 【ガス業】 (株)南部ガスサービスショップ 【水道業】 愛知中部水道企業団 【通信業】 (株)平和テクノシステム 兼松コミュニケーションズ(株) 西日本電信電話(株) 【放送業】 (株)シー・ティー・ワイ スターキャスト・ケーブルネットワーク(株) 【情報サービス業】 (株)天晴データネット アクティス・ジャパン(株) (株)インテックス (株)エイブル (株)エイベックス (株)グローバルエンジニアリング スズキ教育ソフト(株) 鈴与システムテクノロジ(株) (株)セゾン情報システムズ ディップ(株) トリオシステムプランズ(株) 日本情報通信企画(株) (株)ピーエスシー (株)フューチャーイン (株)毎日コミュニケーションズ ヤマトシステム開発(株) 【映像・音声・文字情報制作業】 (株)サイネックス 【鉄道業】 近畿日本鉄道(株) (株)東海交通事業 東海旅客鉄道(株) 名古屋鉄道(株) 西日本旅客鉄道(株) 東日本旅客鉄道(株) 愛知高速交通(株) 【道路貨物運送業】 アーク引越センター(株) アートコーポレーション(株) 軽急便(株) 鴻池運輸(株) (株)サカイ引越センター 三愛ロジスティクス(株) 山九(株) 四国西運送(株) ジョイワーク(株) トナミ運輸(株) トランコム(株) 日本通運(株) (株)日本陸送 濃飛倉庫運輸(株) (株)引越社 名鉄運輸(株) 名阪急配(株) ヤマト運輸(株) 【水運業】 アジアパシフィックマリン(株) (株)フントランスコーポレーション 【倉庫業】 中倉倉庫(株) 東陽倉庫(株) 【運輸に付帯するサービス業】 (株)日栄 桑名エン지니어リングプラスチック(株) 三菱化学工業(株) 矢作産業(株) (株)キユーユー流通システム 国際空港事業(株) (株)コクサイ物流 三協(株) (株)JALスカイ名古屋 高木(株) ホンダロジコム(株) 郵便事業(株) (株)ウエアス 【各種商品卸売業】 (株)あらた 大栄産業(株) (株)Paltac 【繊維・衣服等卸売業】 (株)林八百吉商店 (株)ワイエートレード 【一般機械器具製造業】 タキヒョウ(株) (株)トゥモロランド 豊島(株) 丹羽幸(株) ヒロタ(株) (株)ファイブ・フォックス 九真(株) (株)九大 八木兵(株) 【飲食料品卸売業】 (株)大光 (株)丸水長野果水 (株)名給 アルビス(株) (株)イズミック (有)ウイングフーズ (株)大岡屋 (株)東進 (株)坂田酒販 (株)正直屋 (株)昭和 中部ベジコーク販売(株) (有)ながせ食品 中日本フード(株) 名古屋パナ加工(株) 日本ハム東部直販(株) (株)丸市青果 (株)マルト水谷 大和産業(株) ライフライン(株)	(株)アオキスパー (株)アップランド (株)遠鉄ストア (株)九九プラス (株)ぎゅーとら 進和(株) (株)スイートスタイル (株)西友 (株)ドミ (株)バロー (株)フィールコーポレーション 藤桂京伊(株) マックスバリュ中部(株) マックスバリュ東海(株) 三重食品食品(株) (株)三河屋 (株)リカーマウンテン 【自動車・自転車小売業】 愛知トヨタ自動車(株) 愛知日産自動車(株) (株)あさひ(サイクルベースあさひ) (株)オートバックス名古屋 (株)グッドスピード (株)サンアイ自動車 (株)ギャラクシー (株)タスハラ自動車 静岡トヨタ自動車(株) 静岡トヨタ自動車(株) (株)スズキ白阪三重 大家自機工業(株) 東海マツダ販売(株) 富士山ガキ販売(株) トヨタカローラ中京(株) トヨタカローラ富山(株) トヨタカローラ名古屋(株) トヨタカローラ三重(株) 豊橋三豊自動車販売(株) 名古屋スバル自動車(株) 名古屋トヨタ(株) (株)日産サティオ富山 ネットトヨタ静岡(株) ネットトヨタ中京(株) ネットトヨタ名古屋(株) ネットトヨタ東名古屋(株) ネットトヨタ福井(株) (株)ホンダカーズ岐阜 (株)ホンダカーズ岐阜西 三重トヨタ自動車(株) (株)ヤナセ 【家具・小売・機械器具小売業】 (株)アイテック (株)ビックカメラ (株)エディオンEAST (株)エフティコミュニケーションズ (株)カーマ (株)キガス (株)グッドウィル (株)ケーヨー 上新電機(株) (株)セキド トステムビバ(株) (株)トップメディア (株)日本ホットライブ (株)ホームセンターアーク 【その他の小売業】 (株)くわこや (株)坪井花苑 アプライドグループ (株)アルペン (株)イービーエム (株)ヨシダ (株)キタムラ (株)杏林堂薬局 (株)クリエイトエス・ディー (株)グオ ゲンキー(株) (株)三洋堂書店 (株)ジブドラッグ 大和書店(株) 中部オプカル(株) (株)チヨダ (株)フジ薬局 (株)東和工業 (株)ドン・キホーテ ニッカホーム(株) (株)ハース ハートランド(株) (株)ビジョンメガネ (有)平田メディカル (株)プロジェクティブ マエダ薬品商事(株) 三河商事(株) (株)ミキモト 宮島薬品(株) (株)メガネのハラダ (株)メガネの和光 (株)メガネ流通センター (株)セマナミ 【銀行業】 (株)十六銀行 (株)三井住友銀行 (株)愛知銀行 (株)岐阜銀行 (株)名古屋銀行 (株)長野銀行 (株)ゆうちょ銀行 【協同組織金融業】 信用組合愛知商銀 愛知信用金庫 いちい信用金庫 豊田信用金庫 大垣信用金庫 掛川信用金庫 濃郡信用金庫 北伊勢上野信用金庫 岐阜信用金庫 静岡信用金庫 西濃信用金庫 関信信用金庫 瀬戸信用金庫 但馬信用金庫 知多信用金庫 中日信用金庫 東海労働金庫 東春信用金庫 東濃信用金庫 豊田信用金庫 西尾信用金庫	(株)秀英予備校 (株)総合資格 (株)野田塾 【郵便局(別掲を除く)】 郵便局(株) 【協同組合(他に分類されないもの)】 多気郡農業協同組合 愛知西農業協同組合 あいち尾東農業協同組合 あいち三河農業協同組合 越前丹生農業協同組合 加賀農業協同組合 鈴鹿農業協同組合 全国農業協同組合連合会 岐阜県本部 陶部信用農業協同組合 とびあ浜松農業協同組合 西美濃農業協同組合 日間賀島農業協同組合 稲光農業協同組合 松本ハイランド農業協同組合 めぐみの農業協同組合 あいち豊田農業協同組合 大井川農業協同組合 掛川市農業協同組合 ぎふ農業協同組合 桑名農業協同組合 生活協同組合コープあいち 生活協同組合コープながの 飛騨農業協同組合 ひまわり農業協同組合 松阪農業協同組合 【専門サービス業(他に分類されないもの)】 アイシン・エンジニアリング(株) (株)アビスト 岡設計(株) キャリア技術(株) (株)グレステック 齊藤会計事務所 ジャパン・フード&リカー・アライアンス(株) (株)創建 (株)中部総合コンサルタント 原田車間設計(株) ヒューマンライフ(株) (株)プラス (株)ベントリーコーポレーション (株)三重設計 【その他の生活関連サービス業】 (株)クラフトワーク (株)エヌオーイー (株)ジェイアール東海フーズ (株)JT東海 (株)シティアーズ 東海ツーリスト(株) (株)ニココトラベル (株)農協観光 (株)平安堂 名鉄観光サービス(株) ユートラベル(株) 【物品賃貸業】 (株)アクトイ (株)カジココーポレーション 三協フロンティア(株) ジャパンレンタカー(株) 太陽建設レンタル(株) 置置工業(株) (株)トーカイ (株)トヨタレンタリース名古屋 (株)名古屋リース 西尾レントオール(株) 【広告業】 (株)アドキートンフォケーション (株)エスアンドビー (株)日経広告 (株)プレスクリエイト 【その他の事業サービス業】 (株)アウトソーシング (株)アドバンストメディアカル・ケア (株)エメジュシー (株)サイバーコネクション (株)スリーエス (株)セノン (株)セントラルジャパン (株)ビル代行 (株)ポディワーク ミナミ産業(株) (株)エビキスエナジー (株)リッパ 【政治・経済・文化団体】 社団法人名古屋医師会 日進市商工会 社団法人日本貨物検査協会 【国家公務員】 防衛省(1名) 防衛省自衛隊 【地方公務員】 愛知県警察職員 愛知県警察本部 愛知県人事委員会 熱海市役所 海部東部消防組合 湯沢市役所 岡崎市役所 春日井市役所 龍郷市役所 川越町役場 岐阜県教育委員会 岐阜県警察本部 岐阜県人事委員会 桑名市役所 豊田市役所 高知県警察本部 江南市役所 静岡県警察本部 岡崎市役所 津幡町役場 富山県警察本部 豊明市役所 豊田市役所 長久手町役場 長野県警察本部 名古屋市人事委員会 奈良県警察本部 羽島市役所 尾三消防組合 広島市人事委員会 福岡県警察本部 三重県警察本部 (株)ジー・コミュニケーション
--	---	---	---	--

福泊 晶君、中島隆雄君、 岩田知之君(他4名)

大学発ベンチャー ビジネスプラングランプリ で特別賞を受賞

名古屋市新事業支援センター主催の「大学発ベンチャービジネスプラングランプリ」の学生ビジネスアイデア部門で、経営学部より3つのアイデアが特別賞として上位入賞した。

受賞したのは福泊晶君(経営学科4年)、中島隆雄君(現代企業学科4年)、岩田知之君(現代企業学科3年)、河合泰隆君(現代企業学科3年)、澤田真未さん(現代企業学科2年)、島田佳絵さん(現代企業学科2年)、見尾谷弘晃君(現代企業学科2年)が特別賞を受賞した。

福泊君は「非常用抗菌・消臭シャツ等の備蓄に関する新しいビジネスモデル」、中島君は「携帯電話のカメラを利用した画像による情報検索ならびに画像の認識システム」、岩田君他4名は、「自然環境と共生するライフスタイルを支援するサービス『Lofus』」で特別賞を受賞した。特別賞に選定された5件のうち3件が本学受賞という栄誉を収めた。

第8回 キャンパスベンチャーグランプリ 中島隆雄君・荒木旬君 受賞

大学(大学院)、高等専門学校、短期大学、専門学院に在籍する学生、大学院生を対象にしたビジネスプランコンテスト「第8回キャンパスベンチャーグランプリ」(日刊工業新聞主催)において、中島隆雄君(経営学部現代企業学科4年)、荒木旬君(経営学部経営学科3年)の2名が名古屋商工会議所会頭賞を受賞し、2月1日(火)名古屋マリオットアソシアホテルにて授賞式が行われた。

受賞テーマは、「短期の職業体験支援ビジネス」。

このキャンパスベンチャーグランプリは、新事業の提案コンテストを通じて、日本の次代を担う若者の人材育成と新産業の創造を目的とし、起業家精神を養い、問題・課題解決型の人材を育成する教育事業プロジェクトとして位置づけられている。

今後の中島君・荒木君の更なる活躍を期待したい。

平成22年度 文部科学省主催 大学教育改革プログラム 合同フォーラム ポスター発表参加

平成23年1月24日(月)・25日(火)、東京秋葉原コンベンションホールにて平成23年度大学教育改革プログラム合同フォーラムが開催された。

ポスター発表は、本学は昨年度採択された戦略的大学連携支援プログラム「成長型ICT教材を用いた医療薬看心身系大学連携による生活習慣病予防教育体制の構築」で24日(月)ポスター発表に参加した。

当日は、取組代表者の佐藤祐造心身科学部部長を始め、大澤功心身科学部教授、前田初彦歯学部教授が出席し、文部科学省関係、大学関係、教育関係の方々多数が本学ブースを訪れ、本学の取組や実施体制等についての質問に回答した。

また、2月3日(木)には文部科学省にて実施状況についての面接調査があり、面接に当たった担当官からも確実な取組の事例として高い評価を得た。



留学生別科

スピーチ・コンテスト

平成22年12月24日、けやきテラス3階ホールにおいて、第9回留学生スピーチ・コンテストが行われ、8名の個性あふれるスピーチが行われた。

スピーチ内容は日本での留学生生活や日本語学習の大変さ、自分を支えてくれた人々への感謝の気持ち、将来へ向けての決心、人生をどう生きるかなど、別科生一人ひとりの心が素直に反映されていて、深く聴衆の心を打つものがあった。

学長賞に呂源龍さん、別科長賞に周正さん、長久手町国際交流協会会長賞にオユカさん、日進市国際交流協会賞に曲妮さんが選ばれた。



大本山永平寺 大本山総持寺 安居(あんご)説明会を実施

12月15日(水)午後1時30分より、日進キャンパス本部棟3階第2会議室において安居説明会が実施された。

はじめに内田友安事務局長の挨拶の後、曹洞宗大本山永平寺副監院(ふくかんにん)山内老師・大本山永平寺維那(いのう)大場老師、大本山総持寺維那補兼講師高屋老師による安居説明が行われた。

今年は両本山の老師方を招いての安居説明会で、10名の掛搭(かた)志願者が参加した。老師方からは、「本山での修行とは何か」「本山での修行に当たっての諸注意」「自我」とは何か」といったことをわかりやすく話され、出席した寺院の子弟も熱心に老師



第4回 商学部ゼミナール有志による 校歌練習会が開催

商学部ゼミナール有志による校歌練習会が昨年12月16日(木)3・4年生対象に行われた。

今回の練習指導も昨年に引き続き、本学部卒業生兄山祐司氏にお願い致し、親切丁寧な指導をしていただいた。

校歌練習は、1・小池先生撮影のDVD映像にて卒業式での校歌斉唱を聞き、感じをつかむ。2・兄山祐司氏による指導。3・映像と曲に合わせ歌詞を見ないで歌えるか、さらに小池先生のハーモニカに合わせて歌った。映像は日進キャンパスの四季を始め、卒業式や2010年全日本大学野球選手権大会(東京ドーム)練習等、上手く編集された。学生の皆さんも見入っていた。

ゼミ有志の参加は3年生が60名と教員5名、4年生が55名と教員7名。短時間の練習でしたが、参加した3・4年生とも校歌を歌えるようになった。



自転車通学者の 駐輪場利用が登録許可制へ

平成23年4月より自転車通学者を対象に各キャンパスの自転車駐輪場利用を登録許可制とし、防犯登録済みで自転車駐輪許可申請を行った方のみ利用できるようにします(登録料無料)。申請者には駐輪許可シール(写真)が交付されますので、後輪のフェンダー部分等見やすい場所に貼ってください。申請は4月より学生課窓口及び各事務室(歯学部・薬学部・短期大学部)にて行います。なお、登録後は(乗換え時を除き)卒業するまで更新は不要です。

また同時に、学内における自転車通行規則、駐輪場におけるマナー等を記した「自転車利用規則」を定めます。未登録車や違反者には処分を行う場合がありますので注意してください。

昨今、コンビニエンスストア等店舗駐輪場を横切つての走行、携帯音楽プレーヤーを聴きながらの運転を多く見かけます。重大事故の原因となりますので、絶対に行わないでください。



自転車駐輪許可シール

学生課

経営学部

創立20周年記念事業を開催

平成23年2月26日(土)、愛知学院大学経営学部創立20周年の記念講演会と祝賀会が名古屋東急ホテルにて開催された。

午後4時から記念講演会に先立ち、小出忠孝学院長、大野榮人学長から挨拶があり、続く向伊知郎経営学部長からは、20周年を機にスタートした「教育改革」の方向性が示され、あわせてビジネス・リーダー・プログラム構想、学部・大学院が連携する5年間一貫教育プログラム構想が披露された。

記念講演会には法政大学学事顧問の清成忠男先生を講師としてお招きし、「現代日本の大学革新」のテーマでご講演をいただいた。清成先生は、法政大学総長・理事長として3期にわたり大学革新を推進され、大学基準協会会長を務

められる等、大学経営改革の第一人者である。

講演は、具体的な事例と独自の分析を加えながら、「①大学革新が必然である理由、②変化した高等教育需要の実態、③大学革新の方向性、④変革推進に欠かせない教育力と就職支援力、⑤愛知県における大学の特徴、⑥大学革新のこれから」の順で行われた。示唆に富む講演であり、中でも①「人口減少×高齢化×財政難」がともに進んでいる現在、大学といえども自立に向けた成長戦略が必要であること、②大学の地域性と人的資源に配慮し、研究・教育面で選択と集中を図り、新しい需要を満たすこと、③教育の現場では、教育プログラムより教員の教育力の向上が不可欠であること、④就職活動支援においても大学は新分野の開拓が必要であること等が強調されていた。

講演会終了の午後6時から祝賀会が行われた。荒井耕一郎愛知学院大学経営管理研究所所長より挨拶、余語充伸愛知学院大学商経会会長から祝辞、そして青山稔愛知学院大学後援会会長の乾杯の発声で祝宴に入った。来賓、高等学長、経営学部同窓生、教職員など、講演会・祝賀会あわせのべ300名余を迎え、盛会のうちに終了した。



平成22年度「開放講座」修了式

本学では生涯学習の一環として、一般の授業を開放して社会人聴講生を受け入れ、学生と一緒に学ぶ社会人聴講制度を平成8年度より始め今年度で15回目。

現在、先生方の協力により、平成22年度(春・秋学期)で社会人聴講生開講科目数は合計349科目となり、聴講生からは多種多様なジャンルから受講科目を選べることで好評を得ている。

今年度の受講者数は延べ人数で1083名。平成23年1月17日(月)、けやきテラス3階ホールにて「第15回開放講座修了式」が開催され、社会人聴講生約130名が参加し、大学側からは大野榮人学長、竹市良成教務部長らが出席。大野学長から聴講生を代表して中島武彦



愛学院書展

平成23年2月8日から13日にかけて愛学院書展を名古屋市民ギャラリー栄にて盛大に開催しました。今年度は、第20回記念という節目の年を迎え、その記念の一環として中国大連大学、韓国全北大学、開光大学にも作品を出品して頂き、国際的な交流を併催できました。作品数は、計106となり、七百人近くの方に足を運んで頂きました。国境を越えた書に触れることで、互いに刺激し合い、高め合うことが出来ました。愛学院書展は、さらなる発展を目指していきますので、今後ともよろしくお願致します。

愛知学院大学書道部 部長 廣瀬 由佳



名古屋国税局による特別講演会開催

愛知学院大学と名古屋国税局の主催による特別講演会が、11月8日(月)午後3時10分から日進キャンパス12号館G105教室にて開催された。

この企画は国税局の「税を考える週間」の一環事業として行なわれ、近い将来社会人となる大学生に対し、広く税についての理解を深めることを目的とし、本学での開催は今年で5回目。

今回は、名古屋国税局徴収部長の和良一氏により、「IT化・国際化と税一税務を取り巻く環境と国税局の取組」をテーマに行なわれた。

当日は西館司経営学部講師より趣旨説明の後、和良氏による講演が行なわれた。

学生にとってはまだ実感のない「税」について、分かりやすく事例を用いながら説明がなされ、聴講した学生は税の仕組みについて理解を深めた。

当日は360名入る教室が満席となり、熱心に講師の話に耳を傾けていた。



平成22年度心身科学研究所第4回講演会開催

去る12月18日(土)午後1時より、東北大学名誉教授佐々木英忠先生を招き、心身科学研究所主催平成22年度心身科学研究第4回講演会が開催された。講演テーマは「認知症のBPSDに対する抗精神病薬ではなく刺激療法」。

佐々木先生は、日本老年学会の理事長をはじめ、老年医療の第一人者であり、ご専門の老年・呼吸器内科学、とりわけ虚弱高齢者の誤嚥性肺炎における口腔ケアの重要性を先んじて示された。

講演内容は、認知症のBPSD、すなわち、徘徊・攻撃等の行動障害と興奮・幻覚等の精神症状に対する対処法に関する大変貴重な研究成果について



平成22年度臨床心理士試験19名合格で中部地区第1位

中部地区第1位

文部科学省認可の財団法人・日本臨床心理士資格認定協会が実施した、平成22年度臨床心理士資格審査の結果、本学は19名(日21年度修了生)という多数の合格者を出した。

この資格認定試験は、第一次試験(マークシートと小論文)が10月11日に東京ビッグサイトで開催され、本学の平成21年度修了生24名を含む2607名が受験、また第二次試験(面接)が11月20日・11

月22日の3日間にわたり東京フォーラムで実施され、本学20名を含む1742名(残留率67%)が受験した。

その結果、最終合格者は1598名(合格率61・3%)であり、本学からは19名(合格率79・2%)が合格。19名の合格者数は、中部地区の臨床心理士を養成する指定大学14校の中でトップの成績で、この成績は昨年に引き続き2

年連続。

メンタルヘルス講習会を開催

近年全国的に心理的あるいは精神的な問題を抱えている学生が増える傾向にあり、多くの大学ではその対応に苦慮しています。愛知学院大学においても保健センターや学生相談室には、こういった学生本人が、あるいは担当の教員や職員からの相談がしばしばあります。このようなメンタルヘルスの問題は、年間3万人を超える自殺者が続くわが



国では、学生だけでなく教職員においても重要な課題となってきました。そこで保健センターでは、精神健康相談担当の外ノ池隆史医師(精神科医師、非常勤)を講師として、平成22年12月20日に「平成22年度メンタルヘルス講習会」を開催しました。当日は外ノ池講師からうつ病や摂食障害等の精神疾患の解説の後で、保健センター看護師から実際に本学で発生した自傷例や発達障害例の紹介があり、参加した約140名の教職員の方々は熱心に聴き入っていました。

本学でのメンタルヘルスに問題のある学生への対応について、保健センター所長 大澤 功

「第43回リーダーシップ・トレーニング」

大町セミナーハウスで2泊3日開催

2月21日～23日の日程で、長野県大町セミナーハウスに於いて、各クラブのリーダーを対象とした「第43回リーダーシップ・トレーニング」が、運動部45名・文化部40名・一般学生1名の学生86名、指導助言者の教職員15名、合計101名の参加により開催された。



豊治教養部准教授により講習が実施された。また、「筋力トレーニングとパフォーマンス」(境田雅章教養部准教授)、「アスレチックトレーニング実技」(高田正義心身科学部准教授・内藤正和心身科学部助教)、「クラブの企画運営」(西館司経営学部講師)、「クラブの組織管理」(中山重徳商学部准教授)、「期待される社会人像」(村田尚生総合政策学部准教授)、「危機管理」(村上康司法学部講師)、「モチベーションの向上」(北田豊治教養部准教授)の7班に分かれ分科会も実施された。どの分科会も特色あるものであり、熱心な指導助言者のもと、参加学生も熱心に受講していた。

開講式で黒神聴学生部長から「大学における課外活動―所属クラブの活動を越えて―人間力」を」と題して基調講演があり、引き続き全体講習会では、「『じぶん』を探そう―自我状態の把握―」を高田正義心身科学部准教授、「薬物乱用防止講習会」を長野DARC職員により講習が実施された。

2日目には、運動系クラブ・文化系クラブに分かれ、「リーダーシップをとるために」を内藤正和心身科学部助教、「健康管理の必要性」を北田



また、各クラブを団体競技系、武道系、アウトドア系、個人競技系、研究発表系、音楽系、公演・資格取得系の7分野に分けた「系統別懇談会」

では、学生自身による議事進行で、全グループ共通の討議テーマである「クラブ内の人間関係について」の意見交換がなされた。その他にも、「同系クラブが抱えている悩みや問題点、その解決策」など、幅広い範囲の話題についての意見交換もなされた。

夜に行われた「懇親会」では、運動部・文化部の垣根を越え、情報交換・交流がなされた。全クラブが結束をし、本学課外活動の活性化および人間力の向上を誓い合っていた。

最終日の閉講式では、各系統別懇談会の代表学生が3日間の討議の成果を発表し、高田正義心身科学部准教授の総括講評で全行程を終了した。

研修に参加した各クラブ学生責任者には、今後の活動に於いて、学生生活における課外活動の意義・目的を認識し、人間の成長・社会への貢献意識の向上へと繋げ、研修の成果を存分に発揮してくれることを期待したい。



ボンド大学 交換留学体験記

文学部グローバル英語学科三年 野寄祐未



今回は交換留学生として昨年の9月から12月にかけてオーストラリアのゴールドコーストにあるボンド大学へ留学しました。その前にもイギリス、オーストラリアと2度の短期留学を経験していたのですが、今回のように約3ヶ月半という期間を海外で過ごす事はなかったため出発前は緊張と期待が入り交じったような複雑な気持ちでいました。

初日に受けたクラス分けテストの結果、私はEAP(English for Academic Purpose)クラスのレベル3になりました。このクラスは大学進学準備コースといい、全て修了するとそのまま大学へ正規に入学することができるといふもので、滞在中、私はずっとこのクラスで勉強していました。クラスメイトのほとんどが母国で大学を卒業し学位を持っている人、一度社会に出て働きそれから大学進学を目指す人たちがほとんどで私と同年代の人は1、2人でした。クラスはフランス、スウェーデン、ニュージーランド、ロシア、コロンビア、タイ、中国、日本という9人の本場に国際色豊かなクラスでした。授業の内容はやはり難しかったですが、基本的なスピーキング、リーディング、リスニングはもうできているという前提でしたので私は授業についていくのに必死でした。授業の内容は主に社会問題を取り扱った内容のリーディング、ライティング、スピーキングで英語力だけでなく一般教養の知識が必要だったので、それでもしっかりと授業についていっている他のクラスメイト達を見て焦ったり劣等感を感じたりなど最初は毎日へこたれていました。中でも毎週あるプレゼンテーションとテストはわたしにとって試験でした。ですがクラスメイトと話をし、授業のことだけでなく、授業のこともおしゃべりをしていくうちに自分の英語に自信をもてるようになりそこから授業が楽しく感じ、テストのでもよくプレゼンテーションのでもよく良くなっていました。やっぱり自信を持つ事って本当に大切なんだなと思えました。最後に行ったディベートではスウェーデンとニュージーランドのチームメイトと毎日のように図書館に残り準備をしました。準備をしていくうちに授業内ではみられなかった一面をかいま見れたりして絆を深めていく事ができました。そして本番では勝利することができ、とても嬉しく一緒に喜び合いました。あきらめず、積極的に取り組んでみて本当に良かったと思った瞬間でした。週末は友達と買い物へ行ったり、ビーチへ出かけたたりなどしました。また友達の日パーティーやホストファミリーとほかの家で開かれるホー

ムパーティーへも行きました。そこで他の国の留学生など知り合い友達になったりしました。ほぼ毎日のようにお家へ遊びに行き料理を作ってみるなど食ったり、たくさん笑った思い出がありました。帰国当日も友達空港まで車で送ってくれ、帰国ぎりぎりまで一緒に過ごしました。留学で私が一番誇りに思う事は、今後も一生つきあうて行くであろう友達がたくさんできたということです。

今回の留学で一番強く感じた事は、英語というツールがあるだけで世界中の人とコミュニケーションがとれ、そしてそれぞれの国の文化や価値観、宗教観も学べるということです。そしてそのことが自分の視野を広げ、人生をより豊かにしてくれるのだという事を肌で感じる事ができました。このような素晴らしい機会を与えてくれた大学のみなさん、そして応援してくれた友達や先生方そして家族には感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。これからもこの経験を生かし勉強していきたいと思えます。

■会場 けやきテラス (3階ホール)



■注意事項
※右記の日程で受診できない方は、外部の医療機関で健診を受け、保健センターに提出して下さい。(用紙は保健センターにあります。外部での検査費用は自己負担をお願いします。)
また平成23年3月以降に外部の医療機関で健診を受けた方は、その診断書の写しを提出して下さい。
《この件に関するお問い合わせ先》
愛知学院大学 保健センター

平成23年度の定期健康診断を下記のとおり実施いたします。
期間内のいずれかの日時に必ず受診して下さい。
受診当日は、学生証・筆記用具・眼鏡(眼鏡使用者のみ)を持参して下さい。

■日 時	
※日進学舎に在籍する下記の学年	
学 部	4年生
大学院	修士2年生・博士3年生
法科大学院	3年生(既修2年生)
平成23年4月5日(火)～4月7日(木)	
午前/9:30～11:15 午後/12:15～16:30	
学 部	1・2・3年生
大学院	修士1年生・博士1・2年生
法科大学院	1・2年生
平成23年5月9日(月)～5月14日(土)	
午前/9:30～11:15 午後/12:15～16:00	
※5月14日(土)は9:30～13:00	

1月27日(木)、日進キャンパス百周年記念講堂で、就職活動中の3年生を対象に出陣式が行なわれ、意欲ある学生が参加し、意気込みを上げて大勢で集合を入れた。



その後、学生達はけやきテラス3階・さくらテラス学生ホールで開催されている企業面談会に挑んでいた。

就職活動 出陣式

生が多数参加した。

式は10時より酒井邦雄キャリアセンター部長の挨拶に始まり、続いて就職課職員から同日学内で実施される企業面談会・企業セミナー、キャリアセンターの有効な利用の方法などの説明の後、吹奏楽部の演奏によるセレモニーが行なわれ、式に彩を加え盛大に行なわれた。式の終了時にはこれからの厳しい就職活動を共に乗り越えよう、教職員・参加学生一丸となって拳を上げて大勢で集合を入れた。